

特に力を入れて取り組むこと



青葉台包括ケアシステムの構築



困りごとを抱えている方に対して
関係機関と連携し、地域で支える体制
(手伝い隊など)の充実に努めます。

例) 認知症への理解促進
高齢者ひとり暮らし支援 など

関係団体と連携した組織づくり



自治会を始めとする関係団体と連携し、
高齢者などへの見守り体制を見直すなど、
地域福祉の推進に努めます。

例) 見守り体制づくり など

青葉台SOSネットワーク事業の見直し・再構築



災害時支え合いマップ作成、連絡網の
再構築、またそれらを活用した災害時
などの支援体制づくりに努めます。

例) SNS などを活用した連絡網 など



お問い合わせ先



青葉台地区社会福祉協議会

若松区青葉台西1丁目14-1 青葉市民センター内

TEL 093-742-5331 / 090-7532-2649

相談窓口



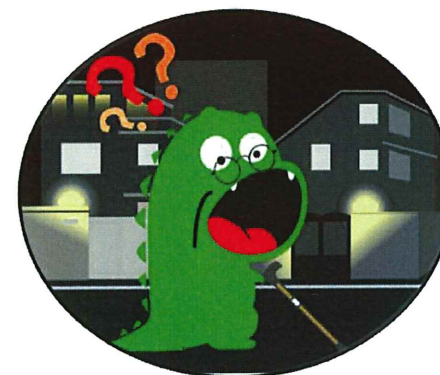
第二次

青葉台地区福祉プラン

「思いやりで連なる

いちょう並木のまち」

2023



認知症になったら…



災害が起きたら…



それ以外も不安なこと…
青葉台ではどうする？

2027

青葉台地区福祉プランとは？

これは北九州市社会福祉協議会の地域福祉活動計画を基に、青葉台地区社会福祉協議会を中心に、関係団体等が連携し、青葉台での福祉のまちづくりを推進するための第2次5カ年計画です。

「支える人」はいずれ「支えられる人」となり、ひとり一人の感性・知性、経験は、人とのふれあいで「優しさ」を育みます。この「優しさ」は、青葉台の人の幸せに繋がる「資源」であり、青葉台の課題を自分達で解決する力となります。

私たちはこのまちの「資源」として、人・地域と共に助け合い、福祉のこころあふれるまちづくりに取り組んでいきます。

第一次プラン(2018～2022年度)の主な成果



見守り体制づくり

自治会・組と連携し、各組の状況に応じて統括福祉協力員を配置し、支援が必要な世帯を把握集約する見守り体制を展開しました！



認知症に対する取り組み

高齢化対策として認知症を正しく知り、対応を学ぶために、啓発映画の視聴、認知症サポーター養成講座、声掛け訓練を実施しました！



あおばGo!Go!手伝い隊

高齢者や支援が必要な方の困りごとに、ほんの少しお手伝いします。現在70歳以上ひとり世帯に限っていますが、今後ご夫婦や老々世帯に対象を広げます！

第二次プラン(2023～2027年度)の内容

基本理念

ひとりもひとつも資源 優しさ育む私のまち

基本目標

1

福祉の風土を広げ
青葉台の課題に気付く
力を高めよう！

気付く

2

青葉台の課題について
話し合い・提言の充実を
図ろう！

話し合う

3

課題を解決するための
組織体制を構築し
活動力を高めよう！

行動する

実施項目

- ① 班・近隣での連携・交流の促進
⇒声かけ・見守りの意識づくり
- ② サロンの高齢者自主活動化
- ③ 地域行事への参加交流の促進
⇒竹あかり・夏祭り・敬老企画
歩きing・餅つき大会 など
- ④ 未来づくりに向けた取り組み
⇒子育て世帯への取り組み
- ⑤ 認知症について理解を深める
⇒声掛け訓練 など
- ⑥ 健康維持・増進の活動促進
- ⑦ 各種研修の実施

- ⑧ ふれあいネットワーク会議の充実
・組会議への福祉協力員・民生の参加
・会議への福祉施設・他団体の参加
・統括と生活支援相談員の会議
- ⑨ 自治会・まち協議会への主体的参加
- ⑩ 地域課題抽出調査など
- ⑪ 青葉“交通”まちづくり計画の推進
⇒路線バス・タウンバスの検討
- ⑫ 関係団体組織と連携した
ゴミ問題への対応の検討

- ⑬ 青葉台包括ケアシステムの構築
あおばGo!Go!手伝い隊の充実
⇒組の助け合いと連携した組織づくり
⇒地域包括・担当ケアマネ・家族と
連携した支援体制の推進
- ⑭ 関係団体と連携した組織づくり
⇒見守り体制の見直し
- ⑮ 青葉台のSOSネットワーク事業の見直し・再構築
⇒災害時支え合いマップ
⇒連絡網の再構築(活用しやすい形)
- ⑯ 社会福祉施設との連携

計画を進めるにあたり
連携・協力をしていく
機関や団体の一覧

まちづくり協議会
民生委員児童委員協議会
自治会
青葉市民センター
青葉小学校PTA
社会福祉施設
・(株)いきいき
・暁の鐘学園
若松区社会福祉協議会

みんなの居場所
～多様なサロン～



ふれあい昼食会

